

【土木学会推奨土木遺産】筑波山千寺川砂防堰堤群

土木学会推奨土木遺産とは？

土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度を設立いたしました。

筑波山千寺川砂防堰堤群は、昭和13年の豪雨により発生した土砂災害を機に、茨城県における最初の本格的砂防事業として、全24基(位置図)を昭和14～18年にかけて整備されました。

堰堤・・・河川の水位を堰上げるために河川を横断して設けられる施設(コバンク参照)



代表堰堤

当該砂防堰堤群は、石積みの趣ある渓流の景観を醸し出しており、当時の土木技術を後世に伝える貴重な建造物と評価され、平成23年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。



賞状



プレート

筑波山観光の際には、是非皆様方にも立ち寄ってご覧頂ければ幸いです



全景1



全景2